

楓教育会第「2回役員会」開催！

—卒業生の輪を広げよう！—

令和4年12月10日（土）14：00～、柴田会館「会議室」において、第2回役員会が開催された。足立和明副会長より、「楓教育会創立20周年記念事業、ご苦労様でした」と開会の言葉が寄せられ、田代和正会長より、「コロナ第7、8波の影響もあり、今年度も面接練習・研修会への講師依頼が出来ない状況が続いています。令和5年度は再開できるよう頑張ります」と述べられました。同窓会を代表して、山内善司顧問は「創立20周年、おめでとうございます。同窓会はコロナ禍を乗り越え、総会・理事会・ブロック会を開催しています。11/4、105周年式典では、4名の柔道部の卒業生など、大分県教員が全国大会で優勝し表彰され、剣道は北海道教員が全国大会で活躍しています。新春箱根駅伝に出場します。同窓会は楓教育会を強力に支援して参ります」と挨拶を頂きました。

議題Ⅰの令和4年度事業について、田代和正会長より「新規事業として9/14（水）教採ガイダンスが行われ、12/17（土）赴任前実践力養成講座が行われます。本年度教採は、前年度より合格率が上がりましたが課題は2次対策です。これからも教職の国士館を支援して参ります」と報告され、承認されました。

議題Ⅱの令和5年度事業について、田代和正会長が提案し、「関東ブロックの開催、卒業生の若手会員の参加を促す手立て、教職志望の学生や卒業生に活用してもらえるホームページの充実策、同窓会東京支部と楓教育会が合同で協力できるよう進めたい。令和5年度より、楓教育会常任理事の工藤公彦氏、菅野潤一氏、清水真氏が教職支援アドバイザーとして着任する予定です」など協議・報告がなされ承認されました。